

「自動車リサイクル部品活用促進調査」の結果について

平成 14 年 7 月 22 日
経 済 産 業 省
製造産業局自動車課

経済産業省自動車課では、自動車リサイクルの有効な手段の一つである自動車リサイクル部品の活用を促進するための方策について調査を行い、その結果をとりまとめた。

本調査は、平成 13 年度委託事業として、(株)富士総合研究所及び自動車部品流通戦略研究所を事務局として実施したものであり、学識経験者、自動車ユーザー、リサイクル部品事業者、整備事業者、自動車メーカー、自動車部品メーカーから構成される「自動車リサイクル部品活用促進調査委員会（委員長：早稲田大学理工学部 永田勝也教授）」を組織し、検討を行った。

具体的には、リユース部品（中古部品）とリビルト部品（再生部品）について、以下のアプローチから調査を行い、その結果を調査委員会において議論し、自動車リサイクル部品の現状分析と課題抽出を行った。

リユース部品における品質表示と保証内容に関する現状調査

リビルト部品の実態調査

自動車リサイクル部品に対する自動車ユーザーの意識調査

調査結果の概要は、添付のとおり。特に、自動車リサイクル部品の普及促進を図るためには、整備事業者を通じて自動車ユーザーに品質情報や保証内容が正確に伝わることが重要であるところ、リサイクル部品事業者が整備事業者に提示する品質表示と保証内容に関するガイドラインを、自動車リサイクル部品の関係者が協力して自主的に策定していくことを提言し、その方向性と内容に関する考え方を示した。

今後、本調査の結果を受けて、リサイクル部品事業者が関係者と議論を重ねることによって、産業界の自主的な取り組みとして、自動車リサイクル部品の品質表示や保証内容に関するガイドラインが策定され、これをもって自動車リサイクル部品の利用がさらに拡大されることに期待する。これは、今般制定された「使用済み自動車の再資源化等に関する法律」の円滑な施行にも資するものであり、経済産業省としては、引き続き業界関係者の連携の下での取り組みを支援していく。

本件に関する問い合わせ先
経済産業省製造産業局自動車課
担当：山本、田村
電話：03 - 3501 - 1690（直通）